

平成 17 年 12 月 22 日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

1, 2 号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟内ピットへの水の流入について

平成 17 年 12 月 21 日午後 8 時 26 分頃、1, 2 号機廃棄物処理設備建屋ボイラ棟地下 2 階（非管理区域）にある、ボイラのサンプリング水等を溜めて排水するポンプおよびタンクが設置されているピット内に水が流入したことを示す警報が発生したため、当該設備の委託運転員*が現場を確認したところ、ピット内に水（非放射性）が溜まっていることを確認しました。流入した量については約 40 リットルと考え、当社へ連絡の上、22 日に排水することとしました。

本日、ピット内の水の流入量を再確認したところ、約 520 リットルであることを当社社員が確認しました。（添付「概略図」参照）

水が流入した原因は、当該ポンプ軸受の潤滑水が排水配管の詰まりによりタンクに排水されず、ピット内に流入したものと推定しました。

ピット内に溜まっていた水は、当該タンクへ排水するとともに排水配管の詰まりについては清掃を実施しました。

今後、排水配管が詰まった原因等について調査し、必要な措置を講じます。

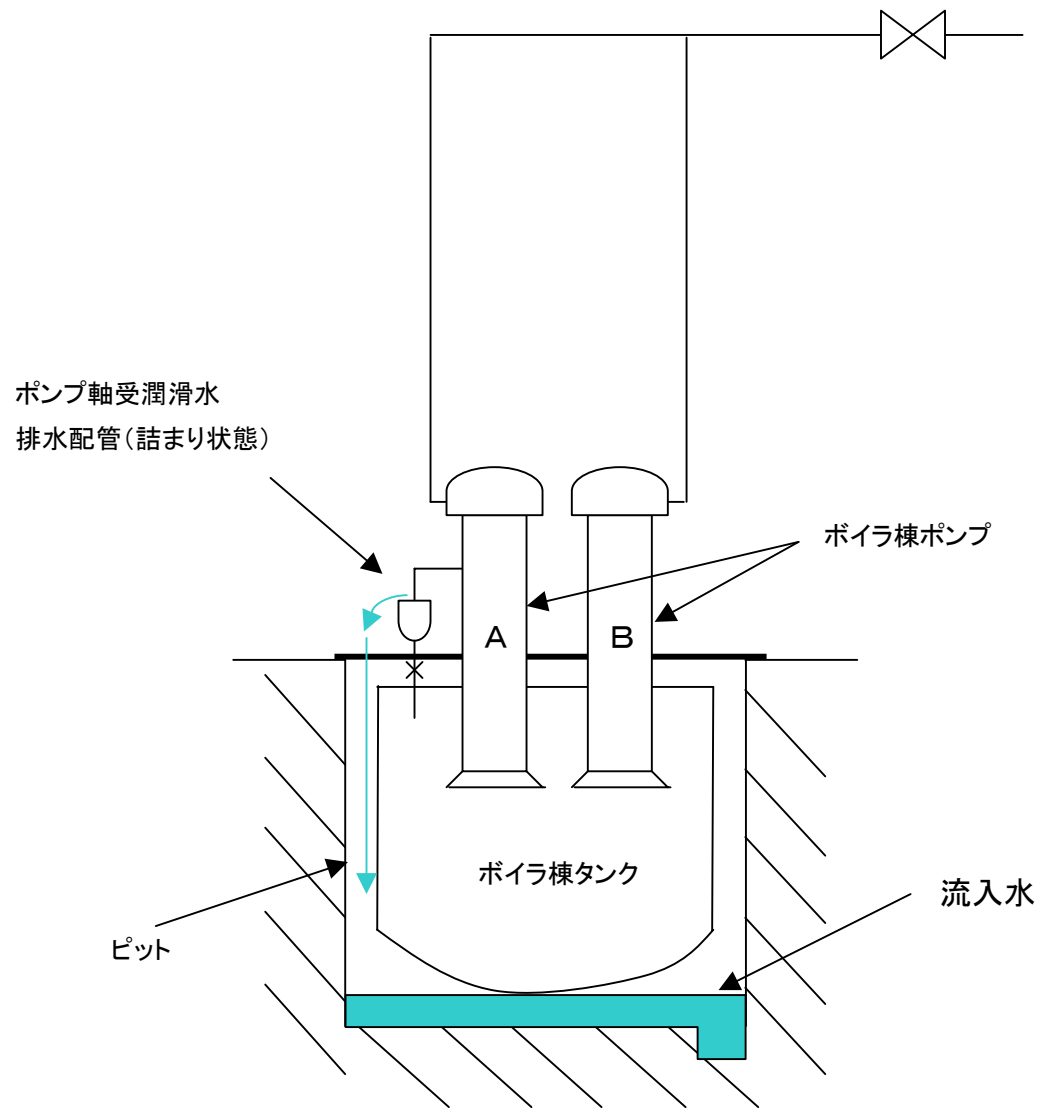
なお、これによる外部への放射能の影響はありませんでした。

以 上

*：委託運転員

当社から廃棄物処理設備の運転を委託している協力会社作業員

「当社原子力発電所における不適合事象の公表方法の見直しについて」（平成 15 年 11 月 10 日お知らせ済み）における、区分Ⅲに該当するものとしてホームページに掲載したものです。



概略図